

令和6年度第2回応援会議にて各委員からいただいた主なご意見について

区分	委員名	ご意見等	対応状況
経済状況	伊藤委員	・中小企業の経営者は年配の方が多く、事業承継や技術の継承に不安を持っている。PCを使えない人もいる中でDXはハードルが高いが取り組んでいかなければならない。	静岡商工会議所と連携して、ITなんでも相談窓口を設置し、ITに関する「かかりつけ医」として相談に対応するとともに、専門家を派遣するなど、市内中小企業のIT活用推進に取り組んでいます。 また、市内中小企業の取組を事例集として発信することで、IT導入のハードルを下げよう取り組んでいます。
人材育成	山崎委員	・伝統工芸について、伝統を守りながら現代人のライフスタイルに合った売り方に変える支援ができないか。 ・支援をしても職人のマインドが変わらなければ一時的にしか売れないので、それを変えることが必要。	本年度9月に「静岡市工芸品価値創造事業実行委員会」という官民組織を立ち上げ、従来の伝統工芸品のあり方に捉われず、消費者のライフスタイルや価値観、贈答習慣の多様化に対応した新たな商品を生み出す検討を行っています。
人材育成	中野委員	・事業承継を必要とする経営者を掘り起こすために市が行うアンケートの対象者は60歳以上だが、高齢化だけが理由ではなく、活きがいい状態の会社を継ぎたい人もいるため、60歳に限定しなくてもよいのではないか。	アンケート調査による掘り起こしは、経営者に事業承継支援についての必要な情報が届かずに廃業に向かうことを防ぐことを目的としています。そのため優先度の高い調査対象として60歳以上を選定しました。その他、年代を問わず事業承継支援の広報・啓発活動を行っています。今後も金融機関などと連携して掘り起こしに努めてまいります。